

高知県の地震

目 次

高知県の地震活動

震央分布図及び断面図	1
地震概況	1
高知県で震度1以上を観測した地震と各地の震度	2
高知県で震度1以上を観測した地震の震度分布図	2

地震一口メモ

6月15日(木)は緊急地震速報の訓練に参加しましょう	3
----------------------------	---

※「高知県の地震」は月1回発行するもので、高知県及びその周辺の地震活動状況をお知らせすると共に、適宜、社会的に関心の高い地震について解説します。また、「地震一口メモ」で地震防災知識等の普及に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査された後に修正されることがあります。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

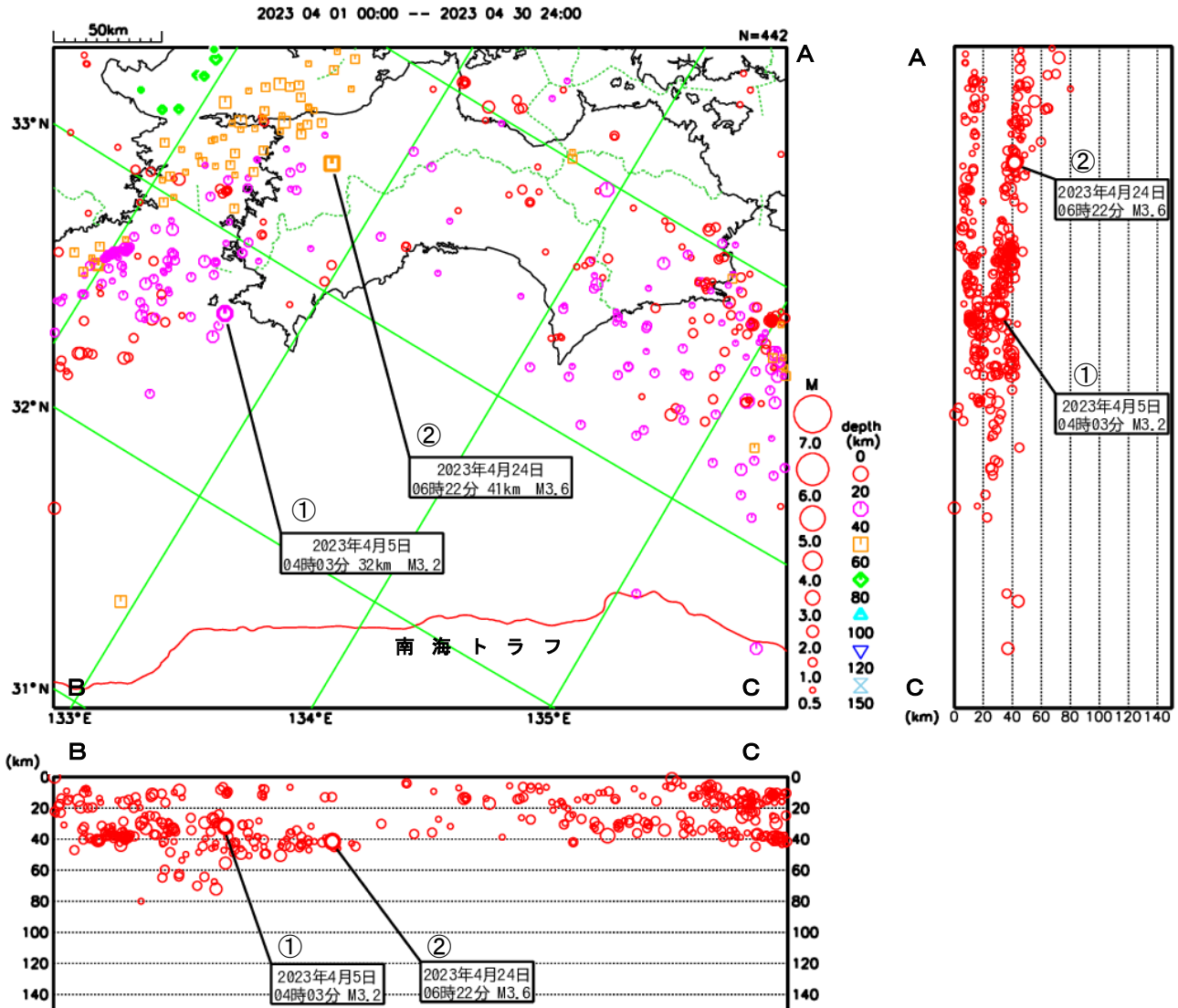
2023年(令和5年)4月

高 知 地 方 気 象 台

高知県の地震活動

「震央分布図及び断面図」

(2023年4月1日～4月30日)



震央分布図では、地震の規模を示すマグニチュード(M)はシンボルの大きさと表しています。震源の深さはシンボルの形と色を深さに応じて変えています。右上の「N」は図中に表示しているシンボルの数(地震の回数)、右の「depth」は地震の深さの凡例を示しています。

断面図(右図及び下図)は、震央分布図範囲内の地震の北北西-南南東(A-C)方向断面図(右)と西南西-東北東(B-C)方向断面図(下)を表し、それぞれの地震の震源の垂直分布を表しています。

「地震概況」

2023年(令和5年)4月に、高知県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回でした(前月は3回)。

5日04時03分、四国沖の地震(深さ32km、M3.2、震央分布図①)により、宿毛市で震度1を観測しました。その他に、愛媛県で震度1を観測しました。

24日06時22分、愛媛県南予の地震(深さ41km、M3.6、震央分布図②)により、高知市・宿毛市で震度1を観測しました。その他に、広島県、愛媛県で震度1を観測しました。

注) 地震概況にある数字は、「震央分布図」、「地震の表」及び「震度分布図」の番号に対応しています。

「高知県で震度 1 以上を観測した地震と各地の震度」

2023 年 4 月

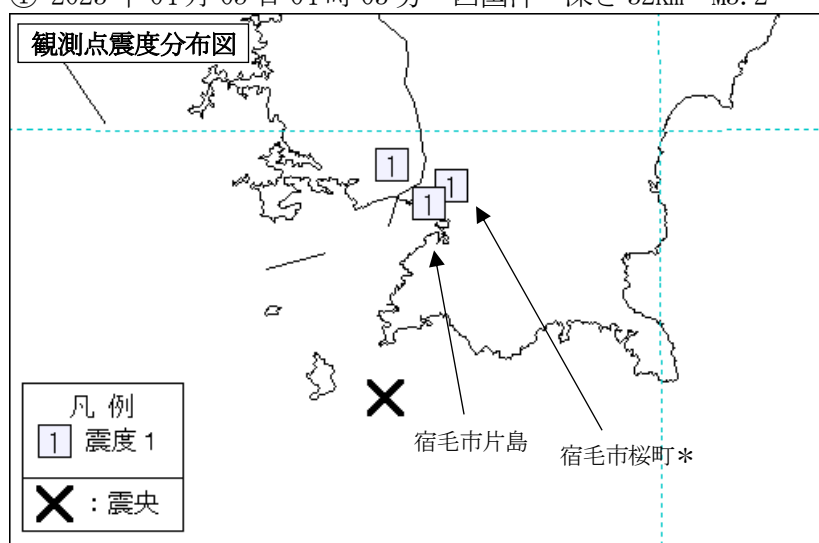
発震時刻 (年月日時分) 各地の震度 (高知県内のみ掲載)	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
① 2023 年 04 月 05 日 04 時 03 分 高知県 震度 1 : 宿毛市片島, 宿毛市桜町*	四国沖	32° 42.3' N	132° 38.3' E	32km	M3.2
② 2023 年 04 月 24 日 06 時 22 分 高知県 震度 1 : 高知市春野町芳原, 宿毛市桜町*	愛媛県南予	33° 28.2' N	132° 42.1' E	41km	M3.6

注) *印は、気象庁以外 (高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所) の震度観測点です。

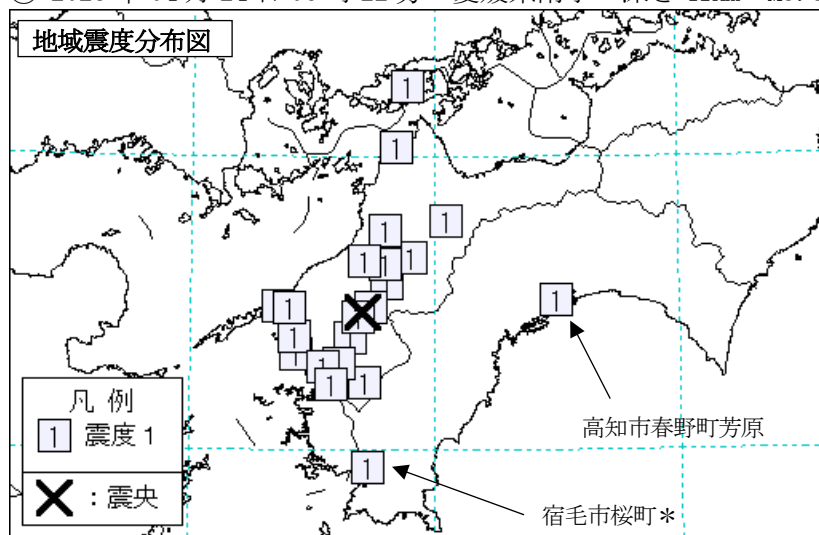
「高知県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図」

2023 年 4 月

① 2023 年 04 月 05 日 04 時 03 分 四国沖 深さ 32km M3.2



② 2023 年 04 月 24 日 06 時 22 分 愛媛県南予 深さ 41km M3.6



注) 観測点震度分布図には、県内で最も大きい震度を観測した観測点名を記載しています。
観測点名の*印は、気象庁以外 (高知県または国立研究開発法人防災科学技術研究所) の震度観測点です。

「地震一口メモ」

6月15日（木）は緊急地震速報の訓練に参加しましょう

○6月15日（木）は緊急地震速報の訓練が実施されます。

緊急地震速報は、地震の発生直後、強い揺れが来ることを可能な限り素早く知らせる情報です。最近では2022年1月22日の日向灘の地震で高知県内全域に緊急地震速報を発表しました。突然の音に驚いて、何をすれば良いかわからず茫然としてしまった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。このような場面に対応するためには、訓練が効果的です。訓練をしておけば、とっさの事態でも対応できるようになります。

緊急地震速報を聞いたときの基本行動は「あわてず、まず身の安全を守る」ことです。具体的には周囲の状況に応じて下図（気象庁リーフレット「緊急地震速報」より）のような対応をとってください。



地震による強い揺れに見舞われると、固定していないものの落下や家具の転倒、ガラスの破損などが起きることが想定されます。緊急地震速報を見聞きしても、これらの危険に対する備えができていなければ身の安全を守ることはできません。日頃から地震への備えを心がけると共に、室内の安全な場所を把握しておきましょう。また、携帯電話、スマートフォンをお持ちの方は緊急地震速報が発表された際に音が鳴る設定になっているか等をご確認ください。

緊急地震速報を活用した訓練に参加し、とっさに身を守る行動について学び、日ごろからの備えを改めて見直してみてもいいかもしれません。

訓練の詳細・参加方法は以下をご参照下さい。

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/kunren.html>



定期刊行物 高知県の地震（高知地方気象台）

<https://www.data.jma.go.jp/kochi/kankoubutsu.html>